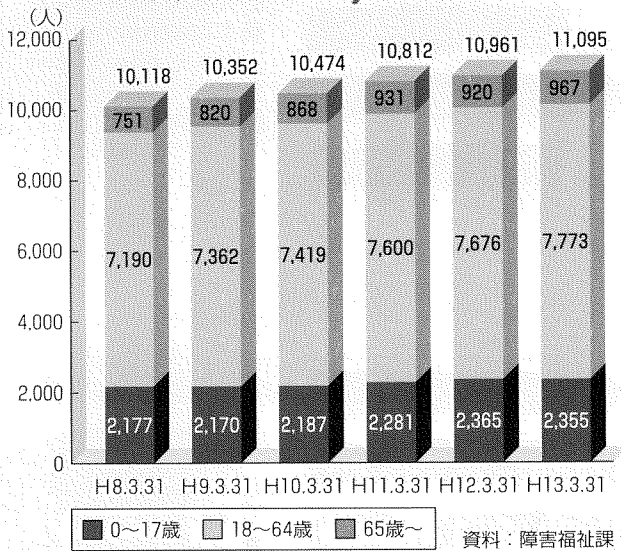
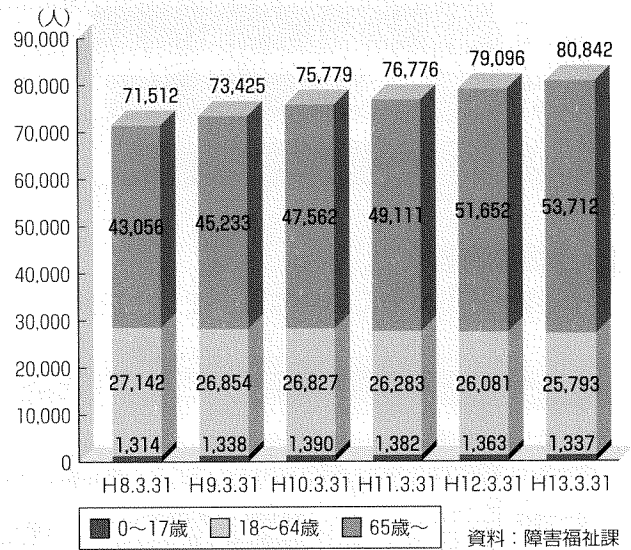


資料4 障害者に対する理解を深める

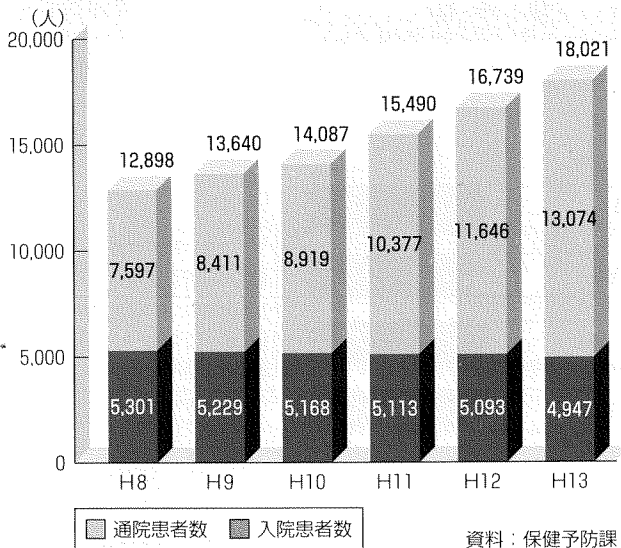
1 知的障害者数の推移（年齢階層別）



2 身体障害者数の推移（年齢階層別）



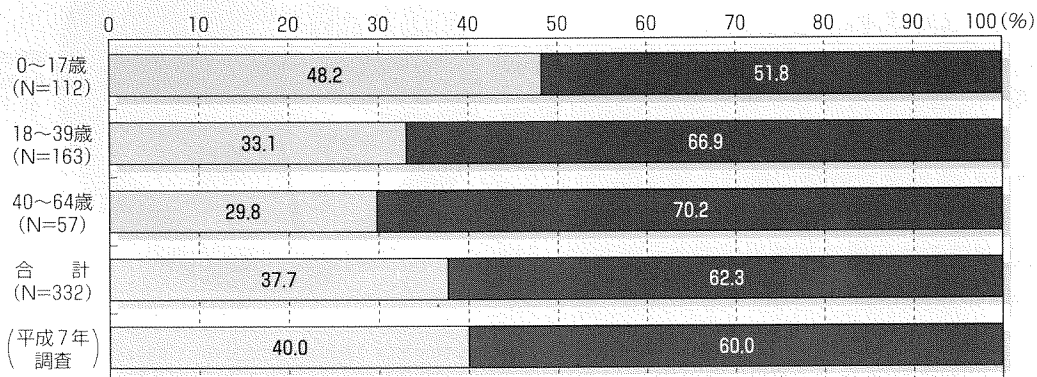
3 精神障害者数の推移



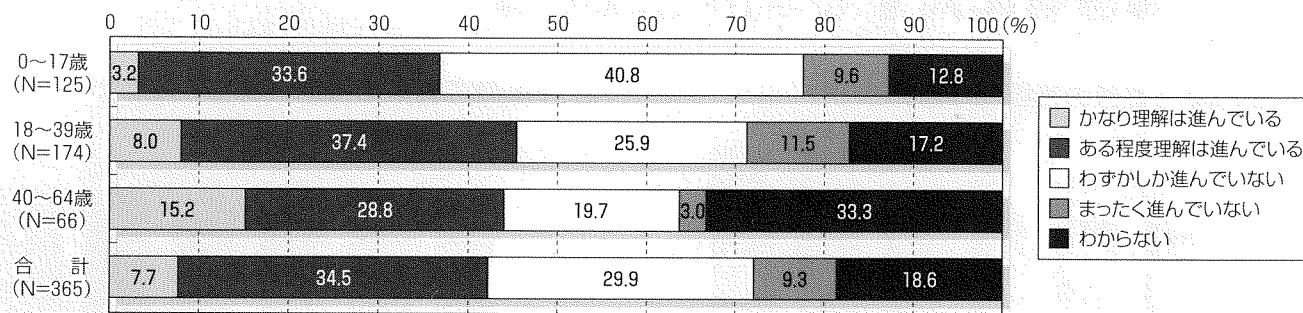
4 障害者の意識調査から

(1) 知的障害者

○ 障害があるためにいやな思いをした経験

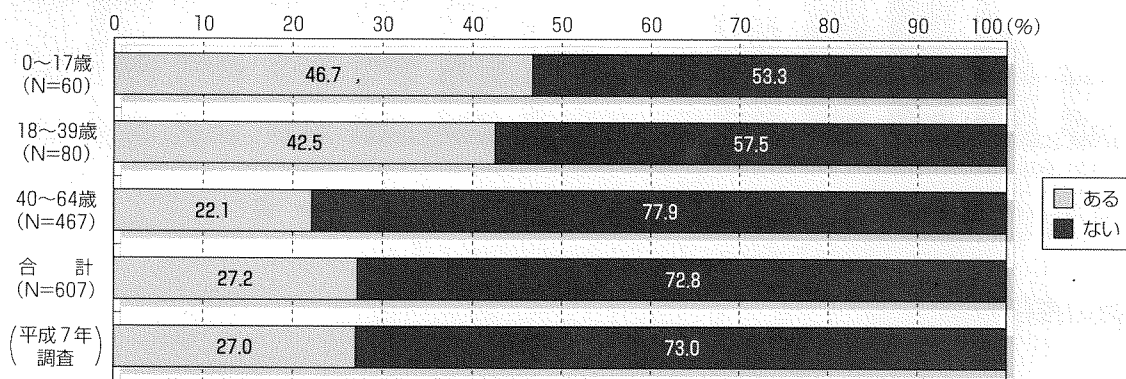


○ 障害に対する理解の状況

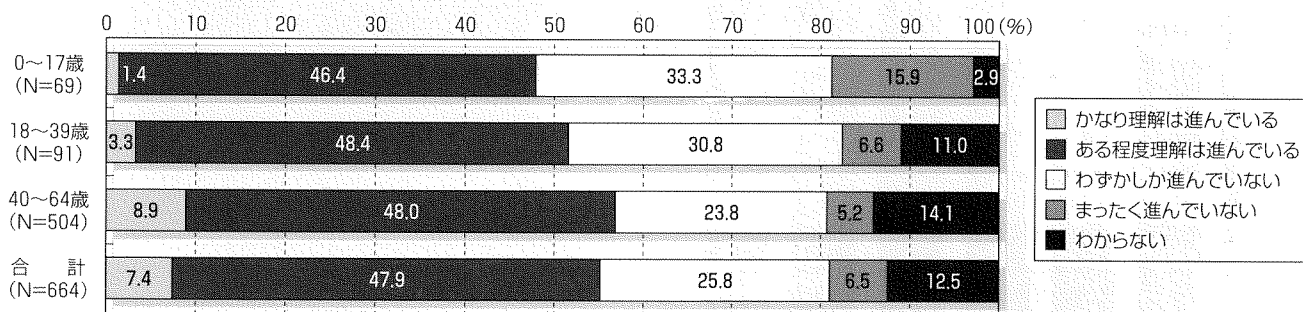


(2) 身体障害者

○ 障害があるためにいやな思いをした経験



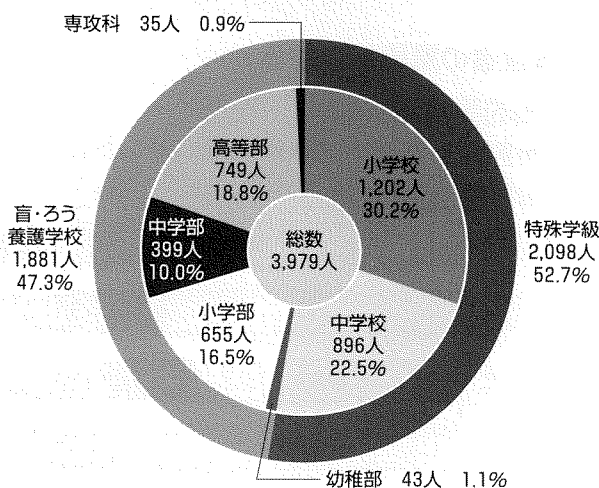
○ 障害に対する理解の状況



障害のある幼児児童生徒の教育

- 一人一人の可能性を伸ばし、もっている力を十分発揮することができるよう、障害の種類や程度・能力・適性等に応じて、特別な配慮のもとに、手厚くきめ細かな教育を行い、自立し社会参加するための基盤となる生きる力を培うことをねらいとしています。
- 盲学校、ろう学校、養護学校では、幼児児童生徒の経験を広め、社会性を養い、豊かな人間性を育てる上で、大きな意義があることから、小中学校等の幼児児童生徒や地域の人々と活動を共にする交流教育の機会を積極的に設けています。
- この交流教育は、他の学校の幼児児童生徒や地域の人々と理解し合うための絶好の機会であり、同じ社会に生きる人間として、お互いを正しく理解し、共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さを学ぶ場であります。

心身障害児の就学状況



資料：特殊教育課「長野県の特殊教育」（平成13年5月1日現在）
特殊教育課資料